

## 組織改編の実施について

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 西 恵正）は、2018年4月1日付で以下の組織改編を実施します。

### 《 運用本部における組織改編 》

運用ソリューショングループとパッシブ戦略運用グループを「ソリューション戦略運用グループ」として統合し、同グループに「運用ソリューション部」「インデックスソリューション部」「フィナンシャルイノベーション部」を新設します。

伝統的パッシブ運用戦略からテクノロジーを核としたソリューション型運用戦略への変革が求められる中、業務の親和性が高い両グループを一体運営とすることによって、マルチアセット戦略の高度化、クオンツおよびインデックスの運用手法・運用モデルの研究・開発、独自インデックスの開発、AIやビッグデータ等に関する研究開発の推進を図ります。

### 《 商品本部における組織改編 》

商品戦略企画グループを「商品調査企画グループ」に改編し、同グループに「商品調査企画部」（商品戦略企画部より改称）と、「プロダクトマネジメント部」（運用本部直属の運用プロダクトマネジメント部の業務を移管）を設置します。

商品調査企画部の商品開発に係る戦略立案機能、商品・資産運用会社の調査・分析機能を強化するとともに、プロダクトマネジメント部にPM（プロダクトマネジャー）を集約してソリューション提供力の強化を図ることで、多様化するお客さまの運用ニーズを的確かつ迅速に捉えることを目指します。

### 《 機関投資家営業本部における組織改編 》

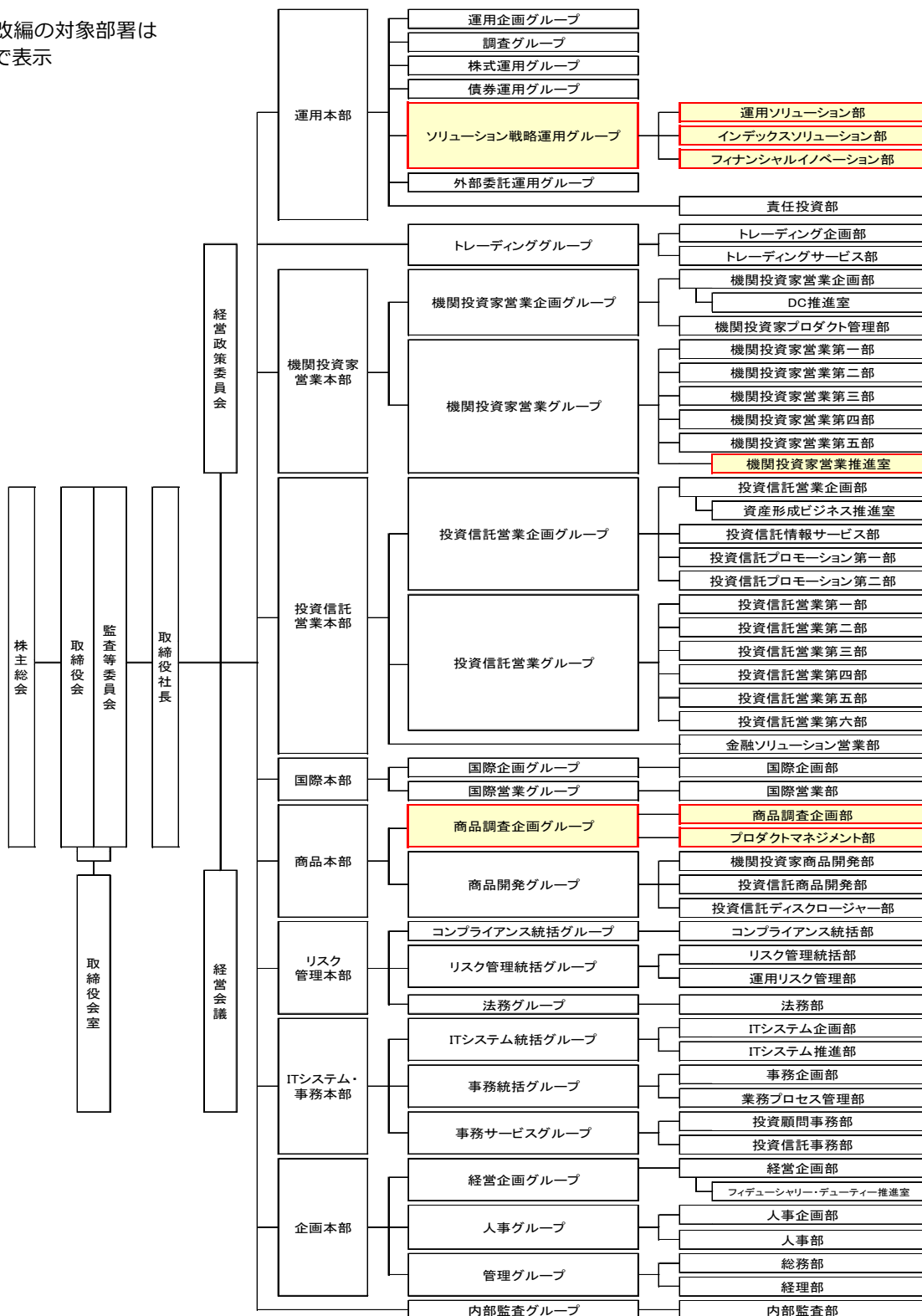
機関投資家営業グループに「機関投資家営業推進室」を新設し、営業推進・サポート体制を集約します。

同室はマーケティング資料の作成やRFPおよび年金コンサルティングへの対応等を担当し、営業部門のRM（リレーションシップマネジャー）と緊密に連携して営業推進をサポートします。同室の設置により、機関投資家のお客さまに対するソリューション提供力、サービス提供力の向上を図ります。

「貯蓄から資産形成へ」の流れが強まっている一方で、低金利環境が長期化しており、資産運用に対する期待は今後ますます高まるものと考えます。当社は、運用業界のリーディングカンパニーとして不断の努力を継続し、個人の皆さまならびに機関投資家の皆さまの様々な資産運用ニーズにお応えしてまいります。

## 【 新組織図 (2018年4月1日現在) 】

※組織改編の対象部署は赤枠で表示



## 【アセットマネジメント One について】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約56兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。

HP : <http://www.am-one.co.jp/>

※運用資産残高は2017年9月末時点。

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会